

科目番号	52106	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース	学年	1		
科目名	乳幼児の成長発達論 (Theory on Growth/ Development of Newborn/Infant)						1	配当セスター	
							後期		
担当者	○中島 美津子、玄 順烈	区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	15	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<b>【概要】</b> 乳幼児期にある子どもの成長発達および生活環境を理解し、子どもと家族の健康を増進するための諸理論を探求する。さらに、子どもと家族を理解し、援助するための理論の適用と課題を明確にする。  <b>【目標】</b> 1. 各発達理論および理論家の背景および理論の源泉を理解する。 2. 各発達理論の概要を理解する。 3. 各発達理論の理論分析を行う。 4. 看護における発達理論の適用と課題を考える。						1. 自律して自然分娩の支援ができる能力			
						2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力			
						3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力			
						4. 周産期の救急時に対応できる能力			
						○ 5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力			
						○ 6. 研究・開発能力			
						○ 7. 倫理的意思決定能力			
<b>授 業 計 画</b>									
回	内 容						担当教員		
1回	ガイダンス 乳幼児の成長・発達 概論						中島 玄		
2回	乳幼児の成長・発達各論とその評価								
3回									
4回									
5回	乳幼児の成長・発達に影響する現代の家族								
6回	乳幼児の成長・発達に影響する現代社会（法律）								
7回	乳幼児の成長・発達に影響する現代社会(厚生行政)								
8回	まとめ								
事前・事後学習	事前学習：小児看護学領域で活用されている倫理規範について自己学習しておく。 事後学習：課題に関連する論文を読み、細心の知見をまとめる。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	プレゼンテーション（30%）、討議への参加度（20%）、課題レポート（50%） フィードバックは適宜行う。								
参考図書 ・資料等	適宜紹介する。  ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								